

# NEWSLETTER

## 比較経済体制学会

No.35 April 2010

---

### Contents

- ・ 比較経済体制学会 2010 年第 50 回全国大会のご案内
  - ・ 2010 年秋期大会のお知らせ
  - ・ 編集委員会からのお知らせ
  - ・ 学会ニュース
  - ・ 事務局だより
- 

### 比較経済体制学会2010年第50回全国大会のご案内

共通論題「世界経済におけるエマージング・エコノミー」

2010年6月5日(土)・6日(日)

大阪市立大学杉本キャンパス

学術情報総合センター

大会ホームページアドレスは以下の通りです。

<http://www3.u-toyama.ac.jp/cfes/horie/jaces-osaka/program.html>

要旨・論文のパスワードは、(削除)で統一します。

プログラム

6月5日(土)

10:00:開会(会場:10階大会議場)

10:15-12:00:共通論題「世界経済におけるエマージング・エコノミー」第1部

司会:栖原学(日本大学)

第1報告:柴田徳太郎(東京大学)「アメリカ金融覇権とエマージング・エコノミー」

第2報告:金野雄五(みずほ総合研究所)「エマージング・エコノミーとWTO体制の今後」

第3報告:大田英明(愛媛大学)「IMFとエマージング・エコノミー」

13:00-14:15:会員総会(会場:10階大会議場)

14:30-16:15:共通論題「世界経済におけるエマージング・エコノミー」第2部

(会場:10階大会議場)

第4報告:柯隆(富士通総研)「中国が世界を変える」

第5報告:濱口伸明(神戸大学)「グローバルゼーションとブラジル」

第6報告:田畑伸一郎(北海道大学)・上垣彰(西南学院大学)「ロシア,中国,インドの経済発展モデルの比較」

16:30-18:30：全体討論（会場：10階大会議場）

討論者：中村靖（横浜国立大学）、丸川知雄（東京大学）

※共通論題の報告時間は各35分、討論者の持ち時間は各15分

18:45：懇親会（学術情報総合センター10階研究者交流室）

6月6日（日）

10:00-12:00：自由論題A パネル「新興市場経済研究の新展開：ハンガリーに焦点を当てて」

（会場：10階大会議場）

司会：佐藤嘉寿子（桜美林大学）

第1報告：サニ・ミクロシュ（ハンガリー科学アカデミー付属世界経済研究所・デブレツェン大学経済経営学部）「ハンガリーにおける産業クラスターの創発」

第2報告：岩崎一郎（一橋大学）「ハンガリーへの外国直接投資と国内企業の輸出行動」

第3報告：田中宏（立命館大学）「ハンガリー企業における生産アーキテクチャの3段階進化論仮説」

討論者：柳原剛司（京都大学）

13:00-15:00：自由論題B「対外関係」（会場：10階大会議場）

司会：吉井昌彦（神戸大学）

第1報告：服部倫卓（ロシアNIS貿易会）「ロシアの経済特区の特質」

討論者：安木新一郎（大阪国際大学）

第2報告：藤井大輔（神戸大学・院）「中国長江デルタにおける外資企業の集積の近況」

討論者：日置史郎（東北大学）

第3報告：森彰夫（玉川大学）「EU拡大の再考」

討論者：池本修一（日本大学）

13:00-15:00：自由論題C「社会と労働」（会場：1階文化交流室）

司会：加藤志津子（明治大学）

第1報告：林裕明（島根県立大学）「ロシアにおける社会変動と労働者の反応」

討論者：武田友加（一橋大学）

第2報告：松本かおり（神戸国際大学）「社会体制と社会変動がパーソナリティに与えるインパクト—M.Kohnらによるポーランド・ウクライナ調査再考」

討論者：堀江典生（富山大学）

第3報告：柳学洙（一橋大学・院）「北朝鮮における企業管理体系の意思決定過程—「大安の事業体系」を中心として—」

討論者：黒坂真（大阪経済大学）

15:15-17:15：自由論題D パネル「中国・ロシアにおけるCSRの国際比較—比較ビジネス社会論の構築のために」（会場：10階大会議場）

司会：今井雅和（高崎経済大学）

第1報告：溝端佐登史（京都大学）「ロシア」

第2報告：酒井正三郎（中央大学）「中国」

討論者：井手啓二（長崎大学名誉教授）、夏目啓二（龍谷大学）

15:15-17:15：自由論題E「経済発展」（会場：1階文化交流室）

司会：加藤弘之（神戸大学）

第1報告：大野成樹（旭川大学）「ロシアにおける金融発展と経済成長」

討論者：安田稔（パーミンガム大学）

第2報告：大原盛樹（アジア経済研究所）「中国とインドの産業発展過程の比較」

討論者：佐藤隆広（神戸大学）

第3報告：カン・ビクトリア（一橋大学）「移行経済における中小企業スタートアップの地域別要因－ウズベキスタンのケース」

討論者：樋渡雅人（北海道大学）

※ 自由論題の報告時間は各 20 分，討論者は各 5 分を原則とする。

#### 大会プログラム委員会

委員長 田畑伸一郎（北海道大学）

委員 栖原学（日本大学）・上垣彰（西南学院大学）・加藤弘之（神戸大学）

#### 大会組織委員会

委員長 田畑理一（大阪市立大学）

委員 堀江典生（富山大学）・藤原克美（大阪大学）・塩谷昌史（東北大学）・道上真有（新潟大学）

#### 大会事務局

大阪市立大学大学院経済学研究科 田畑理一

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

Phone 06-6605-2292 Fax 06-6605-3066 e-mail/ tabata@econ.osaka-cu.ac.jp

### \*\*\* 昼食について \*\*\*

※ 6月5日（土）の午後のみ大会開催場所近くの大学生協のレストランが開いていますが，6日（日）は大学内のすべてのレストラン，喫茶室，食堂は開いていません。また6日は日曜日でJR杉本町駅周辺の飲食

店もお休みであることが多く，5日，6日ともなるべく昼食には弁当を注文されることをお勧めします。

### \*\*\* 会場へのアクセス \*\*\*

#### 杉本キャンパス

大阪市住吉区杉本3-3-138

JR「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東へ徒歩約5分

地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約20分



## \*\*\* 比較経済体制学会第50回全国大会(大阪市立大学)会場マップ \*\*\*



## 編集委員会からのお知らせ

現在、6月刊行を目指して『比較経済研究』第47巻第2号の出版準備をおこなっています。その次の第48巻第1号の投稿締切は8月31日です(2011年1月刊行予定)。現在の編集委員の任期がこの6月で切れるため、第48巻第1号の編集担当は決まっています。6月初めには、新しい編集体制について学会ウェブサイト等でお知らせできると思います。

第47巻第2号に向けて3本の論文の投稿があり、うち1本が第47巻第2号に掲載されます。他の2本は現在改訂中です。『比較経済研究』の査読は高いレベルで機能しており、論文の質の向上に貢献しています。査読をお引き受けいただいた会員諸氏には感謝申し上げます。『比較経済研究』の査読は厳しいとの評価があるとも漏れ聞いています。しかし、査読を annoying な手続きと

とらえるのではなく、論文の質を向上するまたとない機会ととらえていただきたいと思います。

査読による論文審査が機能する前提は、一定の投稿数が常に確保できることです。残念ながら、投稿数は多いとは言えない状態が続いています。本学会機関誌を質的にも量的にも発展させていくためには、まずは投稿論文の数を増やすことが必須です。会員諸氏のご協力をお願いします。ただし、会員数の限られた本学会では投稿数には限りがあることも否定できません。非会員に対して投稿をオープンにすることを検討すべき時期かもしれません。

なお、論文、研究ノートに加えて、書評の投稿あるいは書評で取り上げるべき本の編集委員会への提案もお待ちしています。

(学会機関誌編集委員会)

## 2010年秋期大会開催校について

2010年秋期大会は、既報のとおり上智大学で開催することになりました。10月16日を予定しております。大会組織委員長は安達裕子会員、組織委員は岩崎一郎会員・堀江典生会員・雲和広会員、同プロ

グラム委員長は中村靖会員・プログラム委員は栖原学代表幹事です。ご報告希望は追って受け付けることになると思いますが、ご希望の方はどうぞご予定をお願いします。(事務局)

## 学会ニュース

## \* 第四回比較経済体制学会研究奨励賞の募集が締め切られました。

第四回比較経済体制学会研究奨励賞の応募は、3月末日をもって締め切りました。2名の会員からの応募がありました。9月末までが審査期間となっています。

す。審査結果は、秋期大会で発表する予定です。

(事務局)

## \* 機関誌所収の堀江典生会員による著作が北東アジア学会賞(優秀論文賞)を受賞しました。

2009年11月22日、本学会会員である堀江典生氏による「ロシアの職業と職務の変容：遺制としての旧ソ連型職業分類」、『比較経済研究』第46巻第1号所収、が北東アジア学会賞(優秀論文賞)

を受賞しました。堀江会員の榮譽を称え、共に喜びたいと思います。

(事務局)

## 事務局だより

今回のニューズレターは2010年度大阪市立大学全国大会のプログラムを中心としています。プログラム委員会の多大な労を反映する充実したプログラムができあがりしました。みなさま多数のご参加をお待ちしています。

この時期、異動や転居をされる方々もいらっしゃるでしょう。所属機関の変更や住所変更のお知らせは、変更が生じたときに速やかにお知らせいただきますようお願い申し上げます。とくに、院生会員の方で就職され正会員になられる方々は、次年度会費に関わりますので、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。連絡先は、学協会サポートセンター・比較経済体制学会担当(TEL:045-671-1525; FAX: 045-671-1935; e-mail:scs@gakkyokai.jp)またはメンバーシップ管理担当幹事(杉浦)までお願いいたします。

2006年度からの体制では、事務局は大きく3人に担われてきました。負担軽減の必要からそれは不可欠なものであったと認識しています。ですが同時に、

2007-2008年度に学会会計および機関誌編集の担当を、そして2009年度～現在事務の統括を行っている身(雲)としては、それによる弊害も生じていたことが見えて参りました。

前号のニューズレターにて事務局の作業量を減らすことを明示致しましたが、それは事務分掌の弊害を無くしたいということも見据えたものです。今次事務局では、代表幹事・事務局3幹事の合意により、(既に会計用務を把握しているため)事務統括が会計をも担当するという形を採っています。これは事務統括が現在、業務量を絞っていることによって可能になっているという側面があります。従い、例えば機関誌についての用務に関し事務統括は可能な限り関わらない、といった処理を行っており、会員の皆様にはご不自由をおかけするかもしれませんが、どうぞご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ニューズレターNO.34

2010年4月10日発行

## 比較経済体制学会事務局

〒186-864 東京都国立市中2-1 一橋大学経済研究所 雲和広

Tel. & Fax 042-580-8361; E-mail: kumo (at mark) ier.hit-u.ac.jp

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaces/index.html>

メンバーシップ管理担当幹事 帝京大学 杉浦史和

E-mail: fsugiura@main.teikyo-u.ac.jp

会計担当幹事 明治大学 加藤志津子

E-mail: katos@kisc.meiji.ac.jp